

「公共工事コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【3】 民間技術の積極的な活用 施策12】

連続繊維補強土工法の採用によるコスト改善

工事名：一般国道229号 積丹町 草内法面外一連工事

概要：【従来】現場吹付法砕工 ⇒ 【新】ローピングウォール工法

効果：

- コンクリートを現場打ちする従来工法から、長繊維を混入した補強土を吹き付ける新工法を採用したことにより、工事コスト改善を図った。
- 工事費を、**361百万円**から**289百万円**に改善
(改善額 72百万円 改善率 約20%)



従来：現場吹付法砕工



新：ローピングウォール工法



ローピングウォール
施工状況